

コープきんき残留放射性物質検査

コープきんきでは、生協独自の産直・産地指定の農産物を中心に、残留放射性物質のモニタリング検査を実施しています。この検査では、商品を任意で選定して検査を実施しています。抽出条件や検体自体のバラつきなど、検査する上での限界はありますが、継続的な検査を実施することにより、取扱い商品のリスクを低減することができます。なお、きんき独自のモニタリング検査のほか、お取引様による自主検査、行政による検査についても集約をし、判断をしています。

コープきんきでは、国の責任として放射性物質による汚染から食品の安全を確保することを求めるとともに、独自のモニタリング検査で補完をすることで、取扱い商品におけるリスク管理をしています。

■ 政府による放射性セシウム基準値（2012年4月1日から施行）

放射性セシウムの新基準値（単位：ベクレル/kg）

食品群	一般食品	乳児用食品	牛乳	飲料水
基準値	100	50	50	10

※放射性ストロンチウム、プルトニウムなどを含めて基準値を設定

■ 検査結果

※以下の検査結果は、あくまでも傾向をみるためのものです。参考情報としてお役立てください。

●検査項目：放射性セシウム 134、137

- ・放射性ヨウ素 131 は半減期は 8 日で、3 年以上経過した時点でも検出されることがないため、ここでは放射性セシウムについての検査結果について報告をします。
- ・検出下限値とは、検査で計測する最小値のことをいいます。

（一般食品：NaI シンチレーション探知器 12.5 Bq/kg、牛乳・水・茶：半導体ゲルマニウム探知器 1 Bq/kg）

●月度報告：4月度（2023年2月21日～2023年3月20日検査分）

2023年2月21日～2023年3月20日において、4品目を検査しました。放射性ヨウ素および放射性セシウムについては、検出下限値（一般食品：NaI シンチレーション探知器 12.5 Bq/kg、牛乳・水：半導体ゲルマニウム探知器 1 Bq/kg）を超えたものではありませんでした。

企画回	産地・製造場所	商品名 ※一般的な名称	放射性セシウム 134 (Bq/kg)	放射性セシウム 137 (Bq/kg)
2023031	宮城県	わかめ加工品（塩干）	検出せず（<12.5）	検出せず（<12.5）
2023031	群馬県	ブロッコリー（野菜）	検出せず（<12.5）	検出せず（<12.5）
2023032	宮城県	めかぶ加工品（塩干）	検出せず（<12.5）	検出せず（<12.5）
2023033	茨城県	さつまいも・すずほっくり（野菜）	検出せず（<12.5）	検出せず（<12.5）

※（ ）内は検出下限値